

共に歩まん

ご意見はこちら→



←過去の「共に歩まん」はこちら

【シリーズⅠ】ワクワクする授業～算数・数学編～

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善「探究する授業」

子供が主体的に追究していくには、「問い」や「願い」があることが大切です。子供の「あれ?」「どうして?」「知りたい」「やってみたい」という知的欲求が課題解決に向けた追究の原動力になります。ここでは、学習対象となる事象などとの出会いや、学習課題の設定過程の工夫について考えていきます。

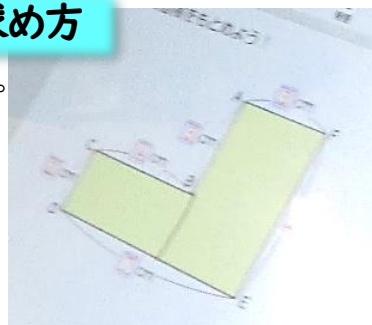
【小学校4学年】 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方

小学校4学年では、左下の図のような図形の面積を求める学習を行います。先生方はこの学習で子供たちと「学習対象となる事象との出会いや学習課題の設定過程」にどのような工夫をしますか。一緒に考えていきましょう。



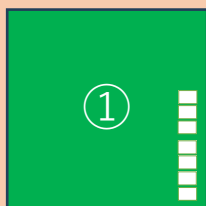
【本時のねらい】正方形や長方形の面積の求め方をもとに、L字型の面積の求め方を筋道を立てて説明できる。

【数学的な見方・考え方】図形の構成（合成・分解・変形）に着目して、面積の求め方を考察する。



POINT① 【M先生の手立て】

図形の特徴を捉え、追究の困難点を明らかにするために、図形を封筒から引き出しながら提示する

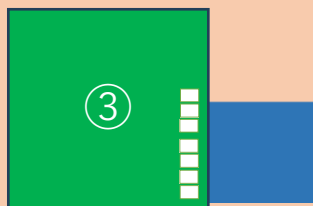


公式を使えば長方形や正方形の面積を簡単に求めることができるよ!



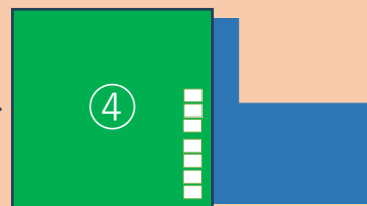
何か出てきたぞ!

簡単だよ!
長方形の面積だよ!



やっぱり長方形だ!

長方形なら、たて×横で面積が出せるよ。



あれ?

え!?

このままでは、面積が求められないよ?

POINT② 既習とのつながりを基に、子供たちの発言から学習問題と学習課題を設定していく

とび出たり、へこんだりしていて、長方形じゃないよ



途中まで長方形だったから、それなら求められたのに…。

じゃあ、長方形にして求められないかな?

分けたり足したりすれば長方形になるよ

【学習問題】長方形や正方形の面積の求め方がそのまま使えない図形の面積はどのように求めればよいだろう。



どうやって求めればいんだろう…。

【学習課題】

長方形や正方形を作り出して、面積の求め方を説明しよう。

数学的な見方・考え方を働かせた問題解決の見通しを明確にするためには、導入場面の工夫が大切になります。この事例の導入で、L字型の図形が左右反対に封筒から出てきたら、子供たちの見通しはどうなったでしょう。導入場面での学習対象との出会いに、一工夫加えてみてはどうでしょう。